

# 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり	小施策 主管課等	[教委]総務課
施策	2	子ども・子育て、若者への支援	評価 責任者	千葉 高明 内線 7310
小施策	17-5	学校施設の整備・充実	評価 シート 作成者	斎藤 敏孝 内線 7312

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
施設の老朽化・劣化が進んでいることから、計画的・効率的な施設の整備や適切な維持保全による施設・設備の長寿命化を図る必要がある。また、バリアフリー化などの学習環境の整備や災害時の地域の避難所としての機能の充実も必要となっている。	予防保全型の計画的な修繕を行うことにより、学校施設の適切な維持管理と長寿命化の視点に立った施設・設備の保全を計画的に推進する。また、大規模改修を行う際は、ユニバーサルデザインの導入により安全性を確保するとともに、災害時の地域の避難場所としての機能を確保する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
小中学校施設等	充実した教育環境に整備され、良好に保たれている。
小中学生	・小中学生の学校内での安全性が向上する。 ・小中学生が、快適な環境で学校生活を過ごすことができる。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
指標	単 位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点	問題の要因分析
指標① 校舎等大規模改修着手校数	校	↗	当初値 (H25) 1   R1目標値 13   R6目標値 48 	・新たな事業の着手(基本設計の実施)は無かったが、既に着手している事業に係る工事及び実施設計を実施することができた。  ・工事の実施により想定される課題及び工事期間中に生じた課題について、学校、地域の関係団体、関係部署及び受注業者等との調整を図り、課題解決につなげたことによる。	・学校施設について、限られた財源を効果的に活用し、計画的な保全の実施と施設の長寿命化を図り、次世代に大きな負担を強いることなく、「公共施設の保有の最適化」を推進し、持続可能な市民サービスの提供を目指す必要があるが限られた財源の中、「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」のスケジュールに基づく大規模改修を実施できておらず、進捗が遅れている。	
指標② 耐震化率	%	↗	当初値 (H25) 79.3   R1目標値 100.0   R6目標値 100.0 	・学校施設の耐震化を早急に確保する必要性から、地方公共団体に対する国の財政支援措置を大幅に拡充した「地震防災対策特別措置法」の施行に伴い、耐震補強工事における国の補助率の特例が設けられ、市の財政負担が大幅に軽減されたことによる。	・耐震指標Is値が0.7を下回った施設について、耐震補強工事及び改築を行ったことにより、耐震化率100%を達成し、安全で安心な教育環境を確保した。  ・特になし。	

## 今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用することにより、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備に努めていく。また、「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」の見直しを受け、下記項目について検討する。 (検討事項) 建築主体(屋根、外壁、内壁、建具、断熱材等) 電気設備(器具・機器類、配線類の交換等) 機械設備(器具・機器類、配管類の交換等)</li> <li>★ 他用途施設との複合化 「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りつつ、施設の複合化が円滑に進むよう関係団体、関係部署等と緊密な調整を進めていく。</li> <li>★ 学校プール老朽化への対応 民間及び市営プールの利活用並びに学校プールの共用化等について検討を進める。</li> </ul>	